

# 令和3年2月議会

## 議案説明資料

- |                                    |      |
|------------------------------------|------|
| I. 議案第 15号 高速鉄道事業会計補正予算案(第1号)の概要   | 1 頁  |
| II. 議案第 1 号 交通局所管一般会計補正予算案(第7号)の概要 | 12 頁 |

交 通 局



## I. 高速鉄道事業会計補正予算案(第1号)の概要

△印減

## 1. 業務の予定量の補正

	補正前	補正後	差引
(1)年間輸送人員	183,047,500人	110,522,000人	△72,525,500人
(2)一日平均輸送人員	501,500人	302,800人	△198,700人

## ○ 一日平均輸送人員の内訳

	補正前	補正後	差引
空港・箱崎線(a)[乗り継ぎ分含む]	427,000人	255,100人	△171,900人
七隈線(b)[乗り継ぎ分含む]	98,500人	61,600人	△36,900人
乗り継ぎ分(c)	24,000人	13,900人	△10,100人
全線計 (a)+(b)-(c)	501,500人	302,800人	△198,700人

## (参考)

## 一日平均輸送人員の内訳(前年度決算との比較)

	元年度(決算)	2年度(補正後)	差引
空港・箱崎線(a)[乗り継ぎ分含む]	403,449人	255,100人	△148,349人
七隈線(b)[乗り継ぎ分含む]	93,065人	61,600人	△31,465人
乗り継ぎ分(c)	23,032人	13,900人	△9,132人
全線計 (a)+(b)-(c)	473,482人	302,800人	△170,682人

## (3) 主要な建設改良事業

営業線改良事業	4,968,153千円	4,967,369千円	△784千円
---------	-------------	-------------	--------

## 2. 収益的収入及び支出予定額の補正

### (1) 収益的収入

款	項	目	補正前の額	補正額
1. 高速鉄道 事業収益			千円 41,645,216	千円 △ 14,103,515
	1. 営業収益		36,456,693	△ 14,454,230
		1. 運輸収益	34,084,744	△ 14,176,724
		2. 運輸雑収益	2,371,949	△ 277,506
	3. 特別利益		30,012	350,715
		1. 固定資産 売却益	15,012	194,854
		2. その他 特別利益	15,000	155,861

計	説	明						
千円 27,541,701								
22,002,463								
19,908,020	乗車料収入の減額							
2,094,443	広告料収入の減額							
380,727								
209,866	土地売却益の追加	<table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>土地売却収入</td> <td>500,614千円</td> </tr> <tr> <td>簿価相当額</td> <td>305,760千円(資本的収入に計上)</td> </tr> <tr> <td>差引売却益</td> <td>194,854千円</td> </tr> </table>	土地売却収入	500,614千円	簿価相当額	305,760千円(資本的収入に計上)	差引売却益	194,854千円
土地売却収入	500,614千円							
簿価相当額	305,760千円(資本的収入に計上)							
差引売却益	194,854千円							
170,861	区分地上権抹消等に伴う利益の追加							

## (2) 収益的支出

款	項	目	補正前の額	補正額
1. 高速鉄道 事業費用			千円 33,357,124	千円 △ 1,772,037
	1. 営業費用		28,702,151	△ 476,197
		1. 線路保存費	2,804,362	△ 60,168
		2. 電路保存費	2,296,256	△ 40,300
		3. 車両保存費	2,330,260	△ 17,394
		4. 運転費	2,472,358	△ 20,320
		5. 運輸管理費	2,194,059	△ 154,383
		6. 運輸費	3,453,483	△ 33,612
		7. 研修所費	59,601	△ 4,224
		8. 一般管理費	1,045,691	△ 145,796
	2. 営業外費用		4,641,998	△ 1,295,840
		1. 支払利息及び 企業債取扱諸費	2,873,974	△ 12,216
		2. 消費税	1,767,024	△ 1,283,624

収入支出差引(1)－(2)	千円 8,288,092	千円 △ 12,331,478
---------------	-----------------	--------------------

※ 新型コロナウイルス感染症の影響による減収を補てんするため、企業債(特別減収対策)  
10,506,000千円を借り入れる。

計	説 明		
千円 31,585,087			
28,225,954	線路施設等の維持補修に要する経費等の減額	給与費 経費	△222,412千円 △253,785千円
2,744,194		給与費 経費	△6,848千円 △53,320千円
2,255,956		給与費 経費	△23,130千円 △17,170千円
2,312,866		給与費 経費	△15,913千円 △1,481千円
2,452,038		給与費 経費	△19,368千円 △952千円
2,039,676		経費	△154,383千円
3,419,871		給与費 経費	△17,169千円 △16,443千円
55,377		経費	△4,224千円
899,895		給与費 経費	△139,984千円 △5,812千円
3,346,158			
2,861,758	平成21年度借入債の利率見直しに伴う企業債利息の減額		
483,400	乗車料収入の減少等に伴う消費税納付額の減額		

千円 △ 4,043,386
-------------------

損益(消費税要素除く)

元年度末累積損益	△ 109,485,089 千円
2年度単年度損益	△ 4,610,810 千円
2年度末累積損益	△ 114,095,899 千円

### 3. 資本的収入及び支出予定額の補正

#### (1) 資本的収入

款	項	目	補正前の額	補正額
1. 資本的収入			千円 25,999,830	千円 304,382
	1. 企業債		16,191,000	△ 16,000
		1. 企業債	16,191,000	△ 16,000
	2. 出資金		2,500,000	△ 156
		1. 一般会計 出資金	2,500,000	△ 156
	3. 補助金		7,157,563	14,778
		1. 国庫補助金	1,818,833	7,000
		2. 一般会計 補助金	5,338,730	7,778
	4. 雑収入		151,267	305,760
		2. 雑収入	69,947	305,760



計	説 明
千円 26,304,212	
16,175,000	
16,175,000	建設改良費充当債の減額 内 訳 営業線改良事業(給与費)の減額                   △ 23,000 千円 営業線改良事業(浸水対策事業)の追加           7,000 千円
2,499,844	
2,499,844	建設改良費に対する出資金の減額 内 訳 営業線改良事業(給与費)の減額                   △ 5,756 千円 営業線改良事業(浸水対策事業)の追加           5,600 千円
7,172,341	
1,825,833	高速鉄道整備事業費補助金(浸水対策事業)の追加
5,346,508	高速鉄道整備事業費補助金(浸水対策事業)の追加
457,027	
375,707	土地売却収入(簿価相当額)の追加

## (2)資本的支出

款	項	目	補正前の額	補正額
1. 資本的支出			千円 41,413,552	千円 4,845
	1. 建設改良費		12,626,792	△ 784
		1. 建物費	3,490,095	28,000
		6. 建設諸費	683,170	△ 28,784
	2. 企業債償還金		28,786,760	5,629
		1. 企業債償還金	28,786,760	5,629
収入支出差引(1)－(2)			千円 △ 15,413,722	千円 299,537

## 4. 企業債の補正

## (1)追加

起債の目的	限度額
特別減収対策企業債	10,506,000千円

## (2)変更

起債の目的	限度額	
	補正前	補正後
高速鉄道事業費	6,078,000千円	6,062,000千円

計	説 明
千円 41,418,397	
12,626,008	
3,518,095	営業線改良事業費(浸水対策事業)の追加 財源 企業債 7,000 千円 一般会計出資金 5,600 千円 国庫補助金 7,000 千円 一般会計補助金 7,778 千円 自己資金 622 千円
654,386	営業線改良事業費(給与費)の減額 財源 企業債 △ 23,000 千円 一般会計出資金 △ 5,756 千円 自己資金 △ 28 千円
28,792,389	
28,792,389	平成21年度借入債の利率見直しに伴う企業債元金償還金の追加

千円 △ 15,114,185
--------------------

## 《参考》新型コロナウイルス感染症の経営に与える影響について

区分	収益的収入			計	収益	
	運輸収益	運輸雑収益	その他		人件費	経費
当初予算	31,021	2,167	5,188	<b>38,376</b>	5,230	10,127
補正後予算	18,120	1,915	5,539	<b>25,574</b>	5,007	9,894
差し引き	△ 12,901	△ 252	351	△ <b>12,802</b>	△ 223	△ 233

※累積損益、累積資金及び企業債残高は、令和元年度決算反映後の数値である。

### 1. 収入（収益）に与える影響

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う外出自粛要請や緊急事態宣言の発令等により、輸送人員が当初予算に比べて39.6%の減となり、運輸収益も41.6%、12,901百万円の減となる18,120百万円となる見込みである。

また、運輸雑収益のうち、広告料収入についても当初予算に比べて22.5%、252百万円の減となる871百万円となる見込みであり、特別利益の追加があるものの、収益的収入全体では当初予算に比べて12,802百万円の減収となる見込みである。

区 分	R 元 決 算	R2 当 初 予 算	R2 補 正 後 予 算	対前年度比	対当初比
一日平均輸送人員（人/日）	473,482	501,500	302,800	△ 36.0%	△ 39.6%
運 輸 収 益 （百万円）	28,994	31,021	18,120	△ 37.5%	△ 41.6%

### 2. 支出（費用）に与える影響

新型コロナウイルス感染症対策関連支出として、車両の消毒費用や駅務員等の感染対策費用、車内放送等の啓発関連経費等で46百万円の追加費用が生じている。

一方で、大幅な減収に対応するため、不要不急事業の先送りや中止、事務経費の削減に努めた結果、280百万円の経費が削減でき、差し引きでは234百万円の支出削減となる見通しである。

収益的支出全体では、人事異動等に伴う人件費の減等と併せて、469百万円の支出削減となる見込みであることから、収益的収入から収益的支出を差し引いた単年度損益は、当初予算に比べて12,333百万円の悪化となる見込みである。

単位：百万円

区 分	金 額	備 考	
増額要素	車両消毒等経費	26	
	駅務員等感染対策経費	15	マスク、消毒液等
	啓発関連経費	5	車内放送、中吊広告等
	計	<b>46</b>	
減額要素	事業先送り	100	施設の外壁修繕工事等
	輸送人員の減に伴う不用	115	広告販売業務委託費、乗車券販売手数料等
	イベント中止	32	地下鉄ウォーキング等
	その他経費削減	33	旅費、備用品費等
	計	<b>280</b>	
差し引き	△ <b>234</b>		

単位：百万円

的支出		計	損益	累積損益	累積資金	企業債残高
減価償却費等	支払利息等					
12,427	2,870	<b>30,654</b>	7,722	△ 101,763	△ 2,684	220,956
12,426	2,858	<b>30,185</b>	△ 4,611	△ 114,096	△ 4,293	<b>231,441</b>
△ 1	△ 12	△ 469	△ 12,333	△ 12,333	△ 1,609	10,485

### 3. 資金繰り（累積資金）に与える影響

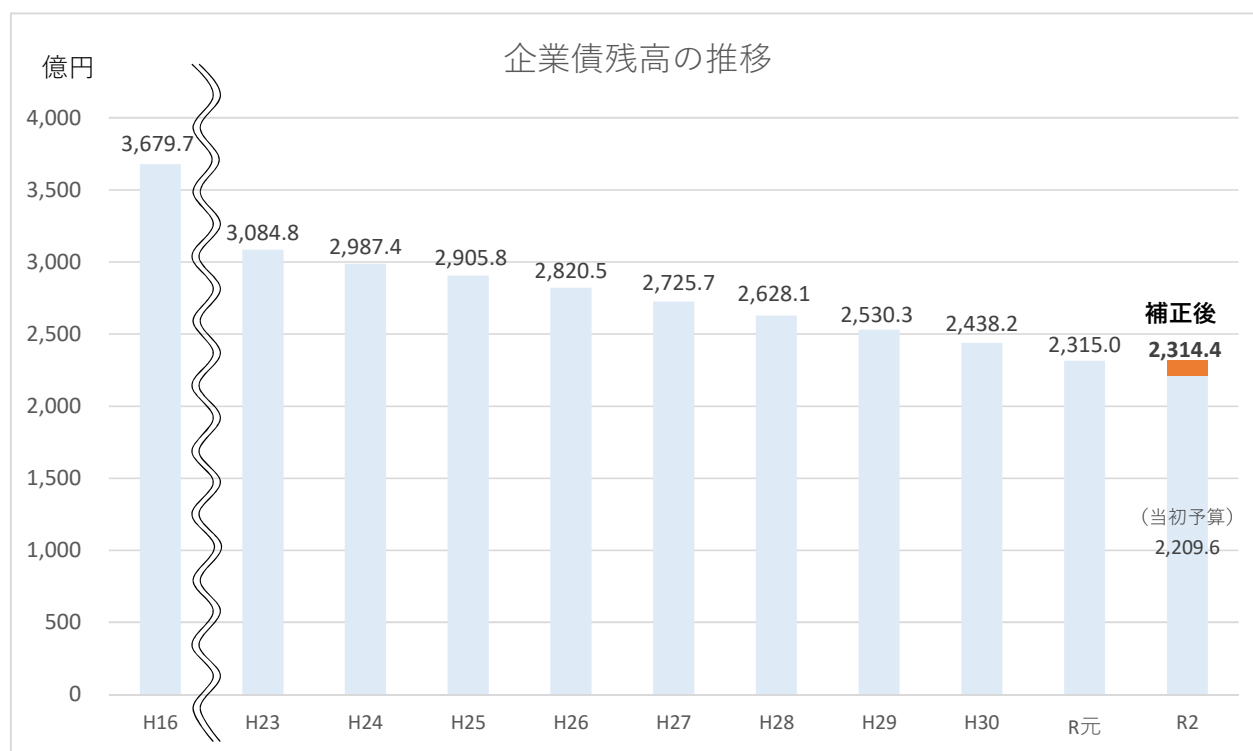
損益の悪化に伴い資金繰りも大幅に悪化するが、特別減収対策企業債10,506百万円の補てんにより令和元年度末と同額の累積資金不足額4,293百万円に留めるため、資金繰りに大きな影響は生じない見込みである。

単位：百万円

区 分	金 額
R元年度末累積資金過不足 ①	△ 4,293
R2単年度資金過不足(当初)	1,609
R2単年度資金過不足(補正後) ②	△ 10,506
特別減収対策企業債発行額 ③	10,506
R2年度末累積資金過不足 ①+②+③	△ 4,293

### 4. 企業債残高に与える影響

当初予算においては、令和元年度末時点から10,548百万円の企業債残高の縮減を見込んでいたが、特別減収対策企業債10,506百万円の発行等により、63百万円の縮減に留まるものの、縮減傾向は維持できる見込みである。



Ⅱ. 交通局所管一般会計補正予算案(第7号)の概要

1. 歳入予算の補正

款	項	目	補正前の額	補正額
			千円	千円
21. 財産収入	1. 財産運用収入	2. 利子及び金	72,704	△ 44,263
23. 繰入金	17. 高速鉄道基金	1. 高速鉄道基金	790,000	△ 156
26. 市債	1. 市債	8. 都市計画債	4,325,000	7,000
歳入予算計			5,187,704	△ 37,419

2. 歳出予算の補正

款	項	目	補正前の額	補正額
			千円	千円
9. 都市計画費	7. 高速鉄道費	1. 高速鉄道費	9,522,937	7,622
		2. 高速鉄道基金	615,865	△ 44,263
歳出予算計			10,138,802	△ 36,641

計	説	明
千円 28,441	高速鉄道建設基金から生じる利子収入の減額	
789,844	高速鉄道事業に対する出資金の財源に充当するための基金受入金の減額	
4,332,000	高速鉄道事業に対する補助金に充当する起債の追加	
5,150,285		

計	説	明
千円 9,530,559	1. 高速鉄道事業に対する補助金の追加 〔 関連歳入 (26) 市債 高速鉄道事業債 〕	7,778 千円 7,000 千円
	2. 高速鉄道事業に対する出資金の減額 〔 関連歳入 (23) 繰入金 高速鉄道建設基金受入金 〕	△ 156 千円 △ 156 千円
571,602	高速鉄道建設基金利子収入積立金の減額 〔 関連歳入 (21) 財産収入 高速鉄道建設基金利子収入 〕	△ 44,263 千円 △ 44,263 千円
		【令和2年度末基金積立金残高 9,244,514千円】
10,102,161		

### 3. 繰越明許費の補正

款	項	目	事業名	関係予算額
				千円
9. 都市計画費	7. 高速鉄道費	1. 高速鉄道費	高速鉄道事業	9,530,559



繰越額	説 明												
千円  3,697,000	<p data-bbox="434 271 1029 302">工期の都合等により、年度内に完了しないため。</p> <p data-bbox="472 338 1345 405">高速鉄道事業会計(建設改良費)の繰越見込額8,561,000千円に対する 一般会計出資金及び補助金</p> <p data-bbox="1283 412 1422 443">単位:千円</p> <table border="1" data-bbox="464 443 1428 611"> <thead> <tr> <th data-bbox="464 443 707 499">区 分</th> <th data-bbox="707 443 946 499">出 資 金</th> <th data-bbox="946 443 1185 499">補 助 金</th> <th data-bbox="1185 443 1428 499">合 計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="464 499 707 555">七隈線延伸事業</td> <td data-bbox="707 499 946 555">1,334,000</td> <td data-bbox="946 499 1185 555">1,905,000</td> <td data-bbox="1185 499 1428 555">3,239,000</td> </tr> <tr> <td data-bbox="464 555 707 611">営業線改良事業</td> <td data-bbox="707 555 946 611">376,000</td> <td data-bbox="946 555 1185 611">82,000</td> <td data-bbox="1185 555 1428 611">458,000</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	出 資 金	補 助 金	合 計	七隈線延伸事業	1,334,000	1,905,000	3,239,000	営業線改良事業	376,000	82,000	458,000
区 分	出 資 金	補 助 金	合 計										
七隈線延伸事業	1,334,000	1,905,000	3,239,000										
営業線改良事業	376,000	82,000	458,000										